

発行  
2014年  
10月  
1日

み と し ん ぶ ん  
**未杜新聞**

地域通貨：未杜

54  
号



あなたの参画が多様性を認め合うコミュニティづくりの輪へ  
あなたの余剰を分かち合う優しさが丹波の自然をまもる輪へ  
あなたのすてきな能力の提供がコミュニティの自立と共生へ

人権・環境・共生



発行所：NPO 法人丹波まちづくりプロジェクト事務局：〒669-3571 丹波市氷上町新郷 1574

\* 編集人：赤井俊子 Tel/Fax0795-82-0065 E-mail：[syunko27@yahoo.co.jp](mailto:syunko27@yahoo.co.jp) URL：<http://mito.tamba.tv>

「山本文之助」を知っていますか

幕末の長州藩士山本文之助は、蛤御門の変で久坂玄瑞などと共に戦ったが敗れて危うく死を免れ京都に潜伏し幕府の動静を窺っていた。しかしさまざまな苦難の末、囚われの身となり、獄吏に自決を強要されて使命を果たす機会がないまま29歳で尼崎にて割腹した人物である。

哀れに思った土地の人達が大物二の坪に葬ってその霊を慰めた。彼は死の直前に「残念だ、悔しい。残念で悔しいことを抱えて、自分の所に詣れば、一つだけ願いを叶えてやろう。」と言い残したそうである。

彼の遺言の噂はたちまち広まり、祈願成就の神様になり、いつしか彼の墓は「残念さんの墓」と呼ばれるようになった。

彼の墓は県立尼崎病院を囲む大物公園の道を隔てた墓園の入り口にあり今なお香煙が絶えないといわれている。

見捨てられていた史跡を探訪すれば、このような伝承に遭遇するかもしれない。また新たな解釈による再評価も考えられる。これらは「ふるさと」を構成する要素の一つ、『歴史』・『物語』と深く繋がっている。

幸いにも丹波では多くの高名な寺社や史跡があり、歴史上の著名人も輩出してきた。最近のIターンやUターンの活動もこの地域が潜在的、顕在的に人を惹き付けることを暗示している。

またそれによって新住民との交流も深まる可能性もある。

まず始めるべきは、居住者自身がその地域を深く知ることであろう。

「未杜」では「未杜カフェ」（「未杜井戸端会議」を改称）で『ふるさと探訪』といった活動を展開しているが、地域を知り、この地域へのファンを自ら開拓・誘導することが期待がされる。これが現在と将来の基礎となる新しい「ふるさと」の創生に向けた取組になるように多くの皆さんの積極的な参加を求めている。

未杜男

## 「予告」

### <10月未杜カフェ>

テーマ：芦屋市ボランティア連絡会と交流  
 日時：10月21日14時～  
 場所：氷上住民センター  
 芦屋ボランティア連絡会の会員さんは  
 丹波市内を見学された後  
 氷上住民センターにて 未社会員との  
 交流を希望されています。

行程：→ 「黒御膳」昼食（三友楼）  
 → 黒枝豆等購入（四季菜館）  
 → 原田泰治展（植野記念美術館）  
 → 14時40分より  
 未社会員と交流（氷上住民センター）

芦屋からはバス2台で来られ70人程度の  
 参加です。未社会員のみなさんはできるだけ  
 交流会に参加していただきますようよろしく  
 お願いします。

### <11月未杜カフェ>

テーマ：「Q&A ここが知りたい！  
 相続・遺言・成年後見」

日時：11月15日（土）13時30分  
 場所：氷上住民センター  
 講師：丹波法律事務所  
 弁護士 馬場民生さん

参加費：会員200未杜・一般300円

●自分自身のためにもまた子供たちの  
 ためにも相続や遺言は早い時期に考えて  
 決めておくことが大切です。

### <12月未杜カフェ>

テーマ：クリスマスオーナメント  
 （リースやツリーの飾り作成）

日時：20日（土）13時30分～

材料はある程度準備をしますが  
 特別なものは持参ください。

場所：氷上住民センター  
 参加費：未社会員 200未杜  
 一般 : 300円

去る8月10日、地域通貨：未杜の活動の視察をするため栃木県真岡市議会議員さん10人が来丹を予定されました。三田まできておられましたが大型台風接近のため交通の諸事情からやむなく引き返さざるをえなくなりました。後日資料をお送りしたところ、その感想が届けられましたのでご紹介します。

### 栃木県真岡市議会議員さんより

わが町では高齢者を支援する活動を行った市民にポイント付与し、その後、商品券に交換できるという事業が、今年度からスタートすることになりました。今後はより幅広い分野の市民活動に対象を広げ「地域通貨」として成長させていければ・・・と私たちは考えています。

そうした思いから今回「未杜」についての視察を計画しました。しかし台風の影響により途中で断念することになり関係者の皆さまには本当に申し訳なく思っております。その後、資料をお送りいただき拝見いたしました。市民活動だけでなく各家庭に眠っている物品の交換や友達づくりに至るまで、実に幅広い領域で「未杜」が活用されていることを知り大変驚きました。

活動を継続するために努力されてきたこと、会員を増やすための工夫、参加されている方々の感想、さらには行政サイドの支援の在り方等々、皆様から直接お聞きしたかったことも沢山あっただけにお伺いできなかったことは残念でなりません。

丹波市は「丹波布」でも有名ですが、真岡市にも同じように手紬・手織りの「真岡木綿」という特産品があります。そうした共通点もありますので、また機会を設けてお邪魔することができればと考えております。末筆ながらますますの発展と活躍をお祈り申し上げます。

真政クラブ・中村和彦議員

## 「報告」

### <7月未杜カフェ>

第二回ふるさと探訪では青垣町を訪問しました



#### \*かじかの郷

菅原体験古民家『かじかの郷』では、田舎暮らしを希望する方が一定期間「お試し滞在」をすることができるところです。丹波市の北端西部に位置し、緑と紅葉に囲まれ、秋は黄金。一色となる加古川源流の郷として自然環境豊かなところ。



#### \*丹波布伝承館

この丹波布伝承館ではこの技術を伝えていくために機織場・糸つむぎ場・草木染色場などを設け伝承生を育成するほか、館内では機織や草木染など丹波布のすべてが分かる展示コーナーや体験コーナー設けられ草木染め教室や機織教室も随時開催されています。



#### \*高源寺

臨済宗妙心寺派の寺院、もみじ（天目かえで）の寺として知られており、まもなく紅葉の見頃です。ライトアップもされます。

8月未杜カフェはお盆のため休みました

### <9月未杜カフェ>

ペアスタイル男性クッキング教室



昨年のペアスタイル型の男性料理教室が好評だったため再度開催しました。



## 会員 紹介

今月は青垣町の前川はるみさんです。

はじめまして、私は今年1月に丹波まちづくりプロジェクト:未杜に入会させていただきました。前川はるみと申します。よろしくお願ひします。



4年前に30年間勤務させていただいた会社を定年退職しました。慌ただしかった勤務時代から打って変わって日常生活にゆとりができました。そして家庭では少しばかりの野菜作りや好きな花などを育て日々ガーデニングに励んでいました。

ゆったりした日常にも慣れたころ何かチャレンジしたいと丹波新聞社の英会話教室に通うことにしました。敢えて苦手な事に取り組んでみようと思った次第です。

早いもので4年になります。教室で赤井先生に出会って地域通貨:未杜のことを知りました。

毎月いろいろなイベントがありそこに参加して楽しみながら見聞を広めたいと思っています。

前回のペアクッキング教室にも参加させていただき男性が料理に取り組んでおられる颯爽とした姿をほほえましく思いました。次に開催される9月のペアクッキングにも参加したいと思っています。

今後ともどうぞよろしくお願ひします。

## 豪雨災害未杜助け合い

お陰様で助かりました。  
丹波の宿: 恵泉の若手従業員みなさんありがとうございました。  
土砂崩れ被害の受けた未社会員Mさんからのお礼が届きました



起業会員「恵泉」の若手スタッフ4人は、豪雨災害で被災された未社会員Mさんの家に駆けつけて泥の掻き出しなど精力的に手伝われました。お疲れ様でした。

\*\*\*\*丹波の宿恵泉紹介\*\*\*\*

丹波の宿: 恵泉は江戸施設長さんを中心に若いスタッフさんが「ほっ」とする和風旅館を目指して日々研修されています。

